

心豊かに  
生涯学習



# 中之町コミセンだより

第238号

## 豪雨災害復旧時の ご協力に感謝します



7月5日から8日にかけて日本列島を襲った豪雨は各地に凄惨な爪痕を残し、三原でも多くの方が被災されております。この災害のなかでお亡くなりになった方のご冥福をお祈りすると同時に、今なお避難されておられる方々を始め被災された皆様のご健康と一日も早い日常生活への復帰を、関係者一同祈念しております。

中之町地域では幸いなことに日常生活に直結するライフ・ラインに限って言えば大きなダメージを受けることがなく、多少の不便さを我慢すれば生活できる環境が保たれておりました。ただ、中之町コミュニティセンターにつきましては災害の各種対応施設として数日間、通常の講座や利用について制限させて頂きました。その際、案内や相談を受けた講座や地域の皆さんの気持ちの良い対応に心から感謝しております。日く「お互い様だからね♪」、「こういう時のための施設なんだから！」ということです。

第二中学校で行われた給水活動でも、連合自治会（コミセン運営委員会）の役員さんや多数のコミセン講座関係者が交通整理や種々のボランティアで参加されている姿を見受けました。二中や東高の生徒たちも連日頑張ってくれました。地域の絆、連携がこうした形で活かされていることに、改めて勇気を頂いております。今後も様々な活動を通して、こうしたことへの取り組みを一層広げていく所存ですので、宜しくお願い致します。

中之町連合自治会長（中之町コミセン運営委員長） 松尾 滋

## 第20回 コミセン文化祭 10月28日に開催決定

中之町コミセン運営委員会主催で2年に一回のペースで開催されている「コミセン文化祭」ですが、今年は10月28日（日）に開催されることが決定しました。

7月4日には現時点で出演や出展を予定しているコミセン講座の皆さんを中心とした「下相談会」が開かれ、本格的な実行委員会を8月29日（水）に呼びかけようということになりました。コミセン内の各講座の皆さんに止まらず、地域で活動されているグループ・個人の皆さんも「地域の絆作り、地域伝統文化の継承」といった視点からも、ふるって実行委員会にご参加下さい。



**中之町コミセン文化祭（第1回実行委員会）**  
**日時：8月29日（水）13時30分～**  
**場所：中之町コミセン 1階研修室**  
**参加資格：中之町コミセン講座&中之町、深町周辺で活動されている個人・グループ**  
**詳しくは中之町コミセン ☎64-4099まで**

## 《コミセンの講座紹介》 「子ども英会話教室」

いよいよ小学校でも2020年から3年生からの必修化が始まり、5年生からの教科化が実施される英会話。お金を掛けて塾通いしている子どもたちもいますが、保護者の皆さんの負担は結構大きいようです。それと良く聞く不満として、「授業中は保護者は教室に入れないのね。どんな授業を受けているのか？ 予習や復習を、私たち（保護者）もサポートすることが出来る内容なのか？ やっぱり知っておきたいじゃない…」ということです。

中之町コミセンでは10数年前から、こうした保護者の要望にも応えられる「子ども英会話」教室の運営を行ってきました。講師の先生は現在3代目の中山マージョリさん。



様々なレベルに対応できる「やさしく、楽しい英会話」をネイティブ英語で開催。保護者の方々も隅の方で見守りと見学をされています。

月2回。第1と第3の土曜日午前中です。是非一度、見学してみてくださいね♪

## 平和フレイ・イベント コミセンでの読み語りと座談会報告

7月18日（水）中央公民館平和イベントに連携して開催された中之町コミセンでのプレ企画の「読み語りと座談会」は、中之町幼稚園や保育所の園児たち22名を中心に30名の参加で、ほのぼのとした雰囲気の中で開催されました。講師は村上 招子さん。



キラキラとした瞳を一杯に見開いて聞いてくれました。



クッキーボール作成中♪

子どもたちは絵本を真剣に聞いてくれて、命の大切さや平和を願う気持ちなど、それぞれを小さな心で受け止めてくれたようです。原爆投下後の広島に入り、被爆者のために家を建てていったシュモ一さんの話（「シュモ一おじさん」）に引き付けて、「今、大雨で被災した人たち（お友だち）のために、みんながお手伝いできることは？」と問いかけると、元気が出るように「頑張っ！」と声を掛けたという答えが返ってきました。みんなが元気になれるようにクッキーボールを作って中央公民館にも飾ります。みんな、みんな、ありがとう！！